

ここで暮らせる貝取・豊ヶ丘～明日につなげる地域づくり～

☆地域資源マップ作り



今年度の第1回全体会では、地域資源のマップ作りをしました。地域にどのような社会資源があるのか、「環境づくり（緑化活動など）」「防災」「居場所」「健康づくり（ウォーキング、体操）」4つのカテゴリーに分けて地図に落とし込んでいくと、見えてきたことがたくさんありました。

「あそこに店ができたのは知っていたけど、どんなところかまでは知らなかった」「一度行ってみたいね」「木曜は休みらしいよ」といった声もあり、マップ作りが活発な情報交換の場になっていました。



今年度は「緑化」と「防災」のテーマに取り組みました

☆貝取小学校と地域が連携して緑化の取り組みが始まりました

第2回全体会では恵泉女学園大学の澤登先生にお越しいただき、地域の緑化の取り組みが住民同士のコミュニティの場になるというお話を伺いました。

それをきっかけにして、小学校と地域の有志が連携して貝取小緑化会議を開催。具体的にどの部分を緑化・美化するか、日程等について先生方やPTA、地域住民で話し合った結果、今年度は11/4（土）と2/10（土）の2回、「貝取小緑化・美化デー」に



▲正門前の花壇が華やかになりました



▲南門の草取り作業をして、視界が良くなりました

取り組むことができ、ともに小学生や保護者、先生方、地域住民の約50人が参加しました。

佐藤副校長先生は「学校がきれいで、地域の方々の見守りがあることは、防犯にもつながります。皆さんにご協力いただきながら、より身近に感じられる学校にしていきたい」と話していました。

次年度以降も年間3回の活動を継続していく予定です。地域の皆さん誰でも気軽にご参加ください。活動の日程については、随時お知らせします。

☆災害図上訓練 LODE

第4回全体会では、全市を対象とした普及啓発講座「災害図上訓練 LODE」を開催しました。

Little people	小さき者も
Old people	老いたる者も
Disabled people	障害を抱える者も
Evacuation	みんなで避難しよう みんなで生きて行ける社会をつくらう

LODEとは

地域にどのような人が住んでいるかを考え、災害時に子どもやお年寄り、障がいのある人も一緒に避難する方法についてシミュレーションする訓練です。
防災体制づくりと地域の見守りを同時に学べる講座です。

集合住宅の立面図に居住者の年代や支援を要する方についてシールを張りながら、要配慮者どこへ・どのように・誰と避難するかを考えて、具体的な避難支援計画につなげていきます。

当日は仮想の対象者をもとに訓練しましたが、3/10（土）には豊ヶ丘4・6丁目自主防災会で、実際の住民を対象に取り組む予定です。

きずなでの取り組みが地域の活動につながっています。LODEについての問い合わせは社会福祉協議会までご連絡ください。



☆中学生とパッククッキング



▲講話：森岡文明氏

1月20日（土）青陵中学校で「災害時の地域での支えあい」をテーマに大地震の講話とパッククッキングを体験しました。

阪神淡路大震災、東日本大震災の両方を経験された多摩市在住の森岡文明さんから、地震の揺れ方や当時の状況を比較しながら、わかりやすく話をしていただきました。また、実体験の中から、日頃からできる災害時の備えについてもアドバイスをいただきました。

災害時にライフラインがストップしても自宅にあるもので簡単に調理できるパッククッキング体験では、お米と焼き鳥缶で「チキンライス」を、コーヒー飲料とホットケーキミックスで「コーヒー蒸しパン」を作りました。

参加した中学生は「震災の話聞いて、今まで知らなかったことを知ることができて勉強になった」「もし本当に地震などが起こったら、今回学んだことを活かしていきたい」などの感想を発表しました。



ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな

「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」は、貝取と豊ヶ丘の地域に関わる活動をしている人々を結び、それぞれの経験・知識・情報を共有することによって、地域の様々な課題の解決を支援する誰でも参加可能なネットワークです。

全体会（定例）：奇数月第2土曜日 10:00～12:00
貝取こぶし館ホール

※約1カ月前に開催通知にてお知らせいたします。